

活動事例集

里庄町以外の町内会で実施している工夫した取組をご紹介します。

①みんなのふれあい感謝祭

●活動の内容

- ・ 買い出し等は担当者を決め前日までに準備する。
- ・ 当日は開始時間に合わせ、朝から調理及び会場準備をする。
- ・ 参加者は、公会堂で芋煮、焼き鳥、おにぎり、お菓子等を食べ、ジュースやお酒を飲み、じゃんけんゲームなどをして楽しい時間を過ごす。



●活動のポイント

- ・ 地域の人々の健康や安否確認ができる。
- ・ 調理については、炊き出し訓練にもなっている。

②ワンコインご近所会

●活動の内容

- ・ 毎月第4日曜日、公会堂で開催。開催参加費は大人500円、子ども100円のワンコインとし、参加人数×300円を自治会予算から補填。
- ・ 13時から軽食や飲み物を購入、14時から会場設営（担当班長）、15時～17時でワンコインご近所会を開催。（乾杯発声後、自己紹介やカラオケなど）

●活動のポイント

- ・ 転入してきた家族が参加されると、以前から住んでいる住民とのスムーズな交流ができる。
- ・ 出生地や子ども・孫との共通点があると、離れたご近所でも顔なじみとなる。
- ・ ワンコインご近所会で知り合った方は、一斉清掃などその他の活動でも会話を交わす間柄になる。

③特殊詐欺防止のための講話会

●活動の内容

- ・ 犯罪被害の未然防止のため、駐在の警察官を講師として招き、年に2回程度特殊詐欺についての勉強会を実施。
- ・ 最新の手法や特殊詐欺対策について学ぶことで、他人事ではなく身近に起こり得ることであることを再確認する。

●活動のポイント

- ・ 勉強会を継続して行うことで、会員に向けて定期的に注意喚起するとともに、被害の未然防止に努める。
- ・ 自分自身で気をつけることはもちろんのこと、町内会の会員同士がお互いに知識を深めておくことで、地域の見守り体制の強化につながる。

その他取組について



●「まっりの会」の結成

負担軽減

町内会のお祭りを手伝いたい若手有志で構成された「まっりの会」を、町内会とは別に結成した。お祭りでは夜店を出店し、賑わいを創出している。メンバーの中から、次の町内会の役員になる会員もいる。

●総務係の設置

負担軽減

町内会の様々な業務を手伝う役職として、役員以外に総務係を設置した。比較的若い世代の人が担い、パソコンを使用した事務作業など、会長や役員が苦手とする分野をサポートしている。

●自治会長の負担を軽減「会長見習い制度」

負担軽減

会長を2年任期の2名体制とし、1年目は見習い会長として活動してもらう制度を導入。見習い会長は会議や行事への参加強制はなく、気軽に会長の役割を学んだり、自治会メンバーとの関係を築くことができる。

●女性のボランティア組織の発足

負担軽減

「無理をしないで時間の空いている時に」という活動理念のもと、町内に在住・在勤する女性で組織し、行事のサポートをしている。夏祭りの運営補助や、敬老の日には高齢者に手作りプレゼントを渡す活動をしている。

●防災訓練にレクリエーションを

防災イベント

防災訓練の参加者を増やし、住民同士の繋がりを深めるため、防災訓練の際に、防災に関するクイズ大会や、子ども向けの防災紙芝居、防災グッズなどが当たるくじ引きを実施した。

●まちの寺子屋

交流促進

町内会の有志が主催し、高齢者世代、子育て世代の世代間交流を実現する講義を実施した。高齢者の健康増進の動機付けや、サポートが必要な子育て世代の情報共有・精神的な支援をすることができる。